

# 高らかに歓喜の歌



声高らかに「歓喜の歌」を響かせた第34回のべおか「第九」演奏会（14日、延岡総合文化センター大ホール）

## 第34回のべおか「第九」演奏会

### 12/16 ひと節ひと節に思い込め

延岡市の年末の風物詩となった第34回のべおか「第九」演奏会は14日、同市東浜砂町の延岡総合文化センター大ホールで開かれ、市民でつくる合唱団のべおか「第九」を歌う会が、九州交響楽団の交響曲第9番合唱付き（ベートーベン作曲）の演奏に合わせ、声高らかに「歓喜の歌」を響かせた。初出演となった指揮者の梅田俊明さん（仙台フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者）は、民衆のエネルギーを感じさせる、すてきな合唱でしたごたえた。（6面に関連記事）

今年初の試みとして、観客により理解を深めてもらおうと演奏前、声優の池田知聡さん（宮崎出身）が「歓喜の歌」のドイツ語歌詞を日本語で朗読した。

「今年初の試みとして、観客により理解を深めてもらおうと演奏前、声優の池田知聡さん（宮崎出身）が「歓喜の歌」のドイツ語歌詞を日本語で朗読した。

今年初の試みとして、観客により理解を深めてもらおうと演奏前、声優の池田知聡さん（宮崎出身）が「歓喜の歌」のドイツ語歌詞を日本語で朗読した。

今年初の試みとして、観客により理解を深めてもらおうと演奏前、声優の池田知聡さん（宮崎出身）が「歓喜の歌」のドイツ語歌詞を日本語で朗読した。

梅田さんから直接指導を受けながら本番に臨んだ。今村愛子会長は「この1年間いろいろなことがありましたが「第九」のひと節ひと節に、たくさん喜びや悲しみを思い起こしながら、皆さんと共に歌わせていただきました。団員の減少や資金不足などの課題がある中「34回目を迎えられたことに感謝したい」と話した。

2019.12.16